

# 花色の療育活動

支援プログラムの原点

“それぞれの子ども”の特性から  
発達の影響を考えよう

運動機能 自分の身体を知ろう  
からだを動かそう



周囲の物に触れる (探索)

経験を積もう 新しい出来事  
様々な感覚刺激

## 活動目的

1. 日常生活に変化・リズムを持つ
2. 健康の増進・保持をはかる
3. 情緒の安定・発達の助長
4. 感情・表現を豊かにする
5. 生活空間の拡大を図る
6. 人や事物への関心を広げる
7. 持っている興味や能力を  
さらに広げ、伸ばす

### 一個々にあわせた介入

- かかわりは相互作用のため支援者の感性を向上させる
- 反応を引き出し、自発性を促すように接する
- 支援計画をたてて、実行し、定期的に評価し計画を見直す (PDCAサイクル)

# 花色の療育活動

“支援”いま、どこにいるかな？

## 活動の階層化のイメージ図

| 階層の段階      | 適応行動評価                      | コンセプト                    |
|------------|-----------------------------|--------------------------|
| ふれあい活動     | 覚醒・睡眠リズムの区別がない              | 「やさしさ」のふれあい              |
| 表出めばえ活動    | 表出はあるが注意をむけることがない           | やさしい語り掛け                 |
| 意欲めばえ活動    | 特定のものに注意を向けることがみられはじめる      | 単調なくりかえし                 |
| 意欲高まり活動    | どのような意味化は不明確だが、特定のものに注目する   | 単調なリズムの繰り返し              |
| 意欲満ちる活動    | こういう意味があるから注目するということが明らかになる | 単調なリズムのひとくくり             |
| 期待めばえ活動    | こうするとこうなるという結びつきがわかってくる     | 本人なりの価値がうまれる             |
| 満足感・達成感の活動 | 結果に対する価値がある                 | もっと見たい、聴きたい、やりたいという期待の充足 |



# 花色の療育活動

## 主な感覚の種類

### 触覚

物のかたさ、形・方向などを感じる  
(温度覚)・あたたかさ、冷たさ



比較的表出がわかりやすい



### 前庭覚

身体のかたむきや、スピード

### 聴覚

音・振動を感じる



他の感覚と連動し能動的な動きにつながる



### 視覚

明るさ・形・方向・遠近などを感じる

- 反応により与える刺激に質や量を変えていく
- 楽しい体験が、表現方法の広がりや対人関係の向上、自発的動きにつながっていく

# 花色の療育活動

療育のながれのヒント(例)

音楽を聴くことが好き



ーアセスメントー

ジャンルは？

音量は？  
(左右どちらの耳から？)

高音？低音？

速度は？



表情が豊かになる  
緊張がゆるみリラックスしている

好きな音楽でリズム遊び



好き・嫌いの判断は？  
表情・サインは？



# 花色の療育活動

## 重症児療育の役割

### いのちを守る

重症児の医学的病態の理解  
療育の場における共感性(こころのふれあい)

### 生活環境向上

食生活、あそび、入浴、睡眠等  
施設内外での環境整備



### 発達支援

(リ)ハビリテーション  
育児的視点での関わり

## ~スタッフ全員~

- ◆同じ療育観をもちましょう
- ◆利用児の状況を共有しましょう
- ◆できるだけ同じ知識と技術をもとう
- ◆悩みもやりがいも共有しましょう
- ◆それぞれの専門職を尊重しよう



## 導入方法(第一段階)

# 花色の療育活動

こどもの特性を知ろう

まずは・・・  
「知ること！」



環境の場面/設定になれ  
“活動の流れ”を知る。

① 始まりの合図

→ <歌・音楽・楽器> や <場面> の変化を知り、楽しみへと繋げていく

② 療育活動

→ <絵本・リズムあそび・トランポリン> 音や動きを多く取り入れ、  
‘趣向’を知る

③ 終わりの合図

→ <歌・音楽・楽器> で活動の終了を知ってもらう。  
“次回への期待”に繋げる声掛け

導入方法(第二段階)

# 花色の療育活動

細かな観察をし、意思をくみとろう



活動を通して、喜怒哀楽の表出  
が出来るようになる。

つぎは・・・  
「慣れること！」

① 始まりの合図

→ <歌・音楽・楽器>や<名前>を読んだり、声をかけて、  
参加をしている事を感じる

② 療育活動

→ <絵本・リズムあそび・トランポリン>  
変化の大きい物を選び、変化を楽しむ。

③ 個別の関わり

→ 療育活動の中に、参加意識を感じてもらおうと共に、意思の表出を促す

④ 終わりの合図

→ <歌・音楽・楽器>で、次回への期待をもってもらうために  
次回の活動内容を説明する。



## 導入方法(第三段階)

# 花色の療育活動

コミュニケーションを模索する

期待  
表出



活動の中で、  
自分の意志を表すことができる

① 始まりの合図

〈歌・音楽・楽器〉や〈会話〉等で、  
キャッチボールできる様なものを選択する

② 個別の関わり

その子の 好む用具 を使用し、意思が表出しやすい関わりをする

③ 療育活動

〈絵本・リズムあそび・トランポリン〉  
期待 を抱けるような 関わり をする

④ 個別の関わり

療育活動の中で、一人一人の特性に 配慮した関わり に努める。

⑤ 終わりの合図

〈歌・音楽・楽器〉で、期待を次回につなげる終わり方を心がける。  
挨拶をしてもらおう。役割をもつ。



# 花色の療育活動

創作活動



達成感の共有

作品制作

療育活動での取り組み

達成感の共有

- ◆ 声のかけ方、手の介助の仕方でも安心感を伝えられます。
- ◆ 過敏を穏やかに受け入れる練習にもなります。
- ◆ 集中力にもつながります。

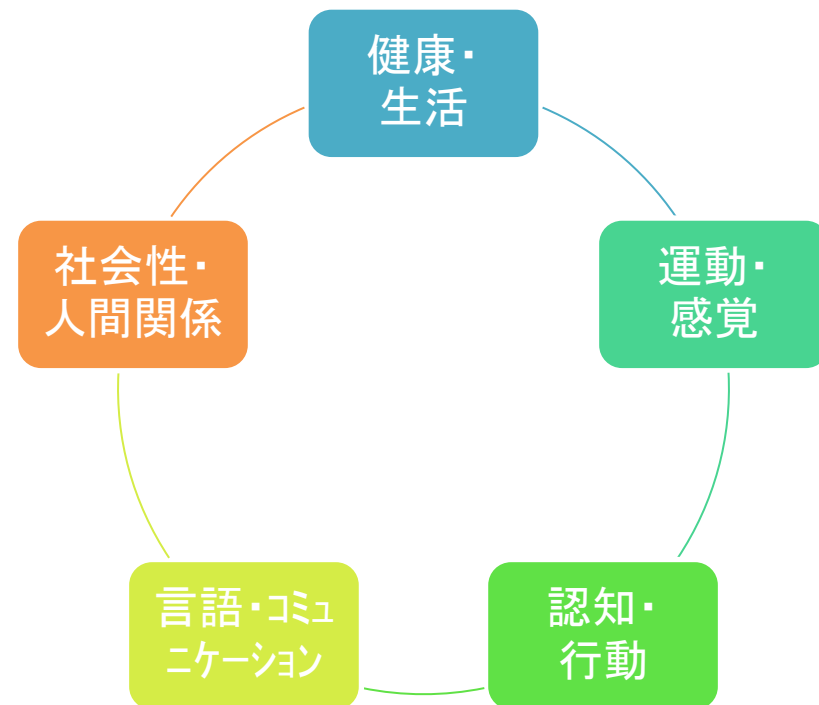
# 花色の療育活動

バランスが大事

少し先を見通しながら・・・



今のこだわりや、生活のしずらさを、  
たくさんの支援者と、家族でチームを作って、  
あかるくたのしい生涯設計をたてていこう！



# 花色の療育活動

## 世界でひとつだけの個別支援計画

この子は ●●なところがある

●●な生活がしたいな..

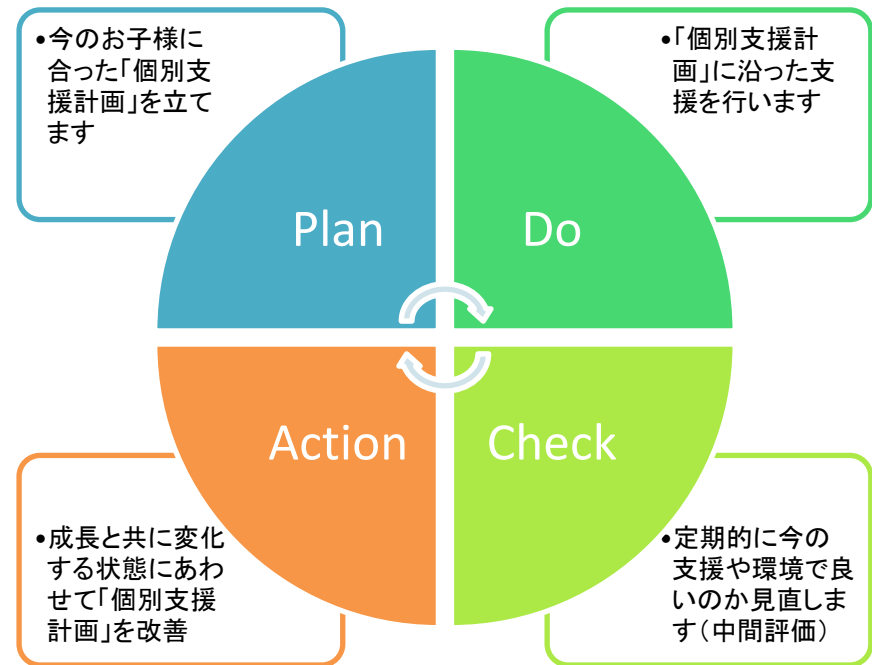
体調が変わって お薬が増えた

きょうだい児が ちょっと思春期 ..心配だな

**個別支援計画**

一人ひとりの状況に合わせた支援を受けられるのが 児童デイサービスの大きな特徴です。

「パパとママのお子さまへの思いを聞かせてください」



ここまでのすべてが、花色の支援プログラムになります